

インドネシア水道に係る情報収集 No. 200701W

検索サイト	Google	実施日	2020/07/10	実施者	T. Masuoka
検索方法 : 「Indonesia Water supply」で検索					
URL ; https://www.advancedsciencenews.com/tourism-water-and-gender/					
標題 : Tourism, water, and gender					
<p>題名 ; 観光、水、そしてジェンダー</p> <p>給水・し尿処理施設が不十分であると、女性は健康・安全上より大きなリスクに直面するが、観光の視点からは調査されてこなかった。</p> <p>1. 観光と水の関係について</p> <p>観光は水を大量に消費する産業である。</p> <p>観光客の一人当たりの水の使用量は地元の人々の使用量をはるかに超えている。</p> <p>観光開発は、量的にも質的にもその地域の水の供給に影響を与える。</p> <p>観光のマイナス要因としては、水の枯渇、水質汚染、給水コストの増加があり、観光によって水が大量に使用される国々では、気候変動が水需要と水不足の問題を悪化させると予測されている。</p> <p>2. 観光と水に関する調査研究の一般的な趨勢</p> <p>研究の大部分は、観光産業のための水の確保に関するテーマが一般的で、ホテルによる水の使用等に関する研究が多く、世界の多くの国でも同様な問題がある。</p> <p>研究の大部分は観光優先の視点で行われており、地域社会の視点に立つ研究は少ない。</p> <p>3. 観光と水に関するその他の視点 (SDG5, 6, 13) からの調査研究</p> <p>○気候変動(SDG13)との関係は、あまり研究されていない。</p> <p>→ 海面上昇や塩水の浸入の増加に苦しむ沿岸地域では、観光と水供給との間で軋轢が頻発しているが、テーマに取り上げられないのは驚きである。</p> <p>○持続可能な開発目標 SDG6 (安全な水の供給とし尿処理) についても考察がなされていない。</p> <p>さらに驚くべきことは、ジェンダーの視点 (SDG5) からの議論が見られないこと。</p> <p>☆80%の世帯では、女性と少女が水汲み作業と給水を担当している。</p> <p>これらの作業では長距離を移動し、重い荷物を運ぶため、暴力を受ける危険性が高い。</p> <p>また、時間がかかるため、少女は学校へ通えず、女性は収入を得るための手段が少な</p>					

くなる。

給水・し尿処理施設が不十分であると、女性の健康・安全リスクが増加することが知られているが、これまで観光との関連では一度も調査されたことがなかった。

このギャップを埋めるために、SDG5（性的平等）と観光、さらに SDG6（安全な水の供給とし尿処理）との相互関係の調査が必要である。

○観光開発の多くが、様々な影響を受けやすい沿岸地域で行われていることを考えると、SDG13（気候変動対策）との相互関係も重要である。

また、気候変動による影響が、女性が水を求めて歩く距離を増やし、水系病気や衛生環境を悪化させている。

女性は、性的・民族的・年齢的差別といった構造的差別の影響を受けやすく、また水へのアクセスの不安定さと、女性に対する暴力の関連性も指摘されている。

最後に

この記事で提案された今後の研究テーマは、観光の水利用が地域社会に与える影響を多面的に明らかにし、性的平等への影響をより広く明らかにすることができよう。また、これらの研究の結果は、観光客の水利用が生態系に与える影響に関する情報とともに、観光と水の関係をより深く理解するために必要である。

備考

SDG ; The Sustainable Development Goals

2015年9月の国連サミットで採択、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標。

1. SDG5 :Gender Equality, 性的平等
2. SDG6 :Clean Water and Sanitation、安全な水の供給とし尿処理
3. SDG13:Climate Action、気候変動対策。